

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 17日

中施策事業名	市有財産管理事業	部課名	市民生活部・総務課
		作成者	山田 隆貴

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税金を効果的、効率的に使う
④中施策事業の対象	市の財産
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市有財産が効率的に管理されている また、不要になったものは、売却することで収入に充てられている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	管財調達係が管理する市有財産の総括、市有財産の処分、他の課に属しない市有財産の取得管理及び賃借契約、市有財産の保険、市有財産台帳及び財産の公表、土地取得特別会計、土地開発公社、土地開発基金

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
不要市有地の売却 件数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	0	0			
単位	件					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			8,685千円	9,888千円	
人件費	a 事業費合計		8,685千円	9,888千円	41,054千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			8,685千円	9,888千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			126円	144円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>評価：B</p> <p>土地開発公社が持つ負債を管理する金融機関について、利息の軽減を目的として入札を行い負担の軽減を図った。</p> <p>行政財産から普通財産となった土地について、測量及び土地鑑定評価等を行い売却に向けて準備を行った。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	測量及び土地鑑定評価等を行った普通財産について、各課等で利用しないことを確認した上で、売却に向けた手続きを行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	普通財産について各課等で利用しないことを確認した上で、測量及び土地鑑定評価等を行い、売却に向けて準備する。 売却以外の策として、利用形態等条件付きの貸付を検討する。 借地について、行政運営上必要な土地の買取も検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 17日

中施策事業名	庁舎維持管理事業	部課名	市民生活部・総務課
		作成者	山田 隆貴

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税金を効果的、効率的に使う
④中施策事業の対象	来庁者及び職員
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	営繕工事、機器類保守、清掃等の実施により適正な施設の維持管理が図られている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	庁舎等施設・設備の保守及び管理、庁舎等施設・設備の改修・整備計画、庁舎駐車場等の管理、電力の共同購入（尾三連携）、庁舎等財産の使用料及び貸付料

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
建築基準法定期報告指摘事項の対応	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	40	50	50	50	50
	実績値	40	50			
単位	%					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			117,330千円	211,452千円	
人件費	a 事業費合計		117,330千円	211,452千円	115,078千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			117,330千円	211,452千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			1,705円	3,073円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>評価：B</p> <p>本庁舎において、定期点検等を実施し、不具合箇所を順次解消した。また、本館の外壁改修工事等を工事担当部署と連携して進め、適切な施設管理に努めた。</p> <p>LED照明への切り替えを階段や廊下等の共用部を主に進めた。LED照明への切り替えの際は、省エネ効果をさらに上げるため照度を抑える等の検討も行った。</p> <p>高圧電力需給について、安定供給できる業者の選定を行った。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>建築基準法第12条点検に基づく指摘事項の解消を工事担当部署と連携して進める。</p> <p>電気料金削減等を目的として、事務室を始めとした庁舎内照明をLED照明に更新することを工事担当部署と連携して進める。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>豊明市地域強靱化計画に基づき、市役所における電力確保対策のため、非常用発電設備の強化を推進する。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等